
盗作

ぼろろ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

盗作

【Nコード】

N2734B

【作者名】

ぼろろ

【あらすじ】

これはアタシの音楽だ！未発表の音楽だ！あの男が盗作したに違いない！

ラジオから流れてきた音楽にアタシは耳を疑った。
うん。何度聞いても、そう。

これは、アタシの音楽だ！

アタシの考えた音楽だ！

アタシは、まだ駆け出しの作曲家である。ザンネンな事に私の曲はまだ一つも発表できていないが。

なのに！

ラジオから流れてきた音楽はアタシの音楽なのだ！

しかも、似ているとか言うレベルでは無い。全く同じものなのだ。
誰だ？

誰がアタシの音楽を盗作したんだ？

アタシは頭の中だけで作曲をする。だから、楽譜を盗まれた。とかデータを盗まれた。ということはありえない。そしてアタシは作曲した曲をこの部屋以外で口ずさんだことは無い。

と、いうことは、犯人はあの男しか居ないじゃないか。

同居人であり、作曲家でもあるあの男しか。

ちようどその時、ガチャリ。とドアを開ける音がした。

あの男が帰ってきた！

アタシはあの男のところまで飛んでいくと訴えた。

「トウサクしたな！」

「何処でそんな言葉覚えたんだ？」

男はアタシの言葉にワラって頭を撫でた。

子ども扱いしないで欲しい！

アタシは怒ってるんだ！

「ああ、その子が例の」

聞き覚えの無い声が出て、アタシはそちらを見る。

玄関に、知らない女が立っていた。この男の知り合いだろう。

”例の”って何?!

つまり、盗作した音楽の作曲者って事?!

「そうだよ。コイツのお陰でネタに困ったとき、助かってるんだ」
「やっぱり!」

こいつはアタシの音楽を盗作したんだ!

「それって、この子のいうように盗作じゃない」

女はニヤニヤしながら言った。

そう、盗作だ!

「盗作も何もないだろう」

男は笑っていった。

「でも、この子の曲でしょう?」

女はあざ笑うような笑みのまま、からかうように言った。

何。その笑いは。これは、アタシの曲なのよ?!

「だって、コイツ。インコじゃないか」

あたしは、あざ笑うように行った男の首に思いっきり噛み付いた。

（後書き）

読者を騙すような話を書きたくて書いて見ました。

騙された！という方が一人でも居ましたら嬉しいです。

よろしければ、今後の参考にコメントやアドバイスをくださるとありがたいです。

お読みいただき、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2734b/>

盗作

2010年11月5日13時48分発行